

第6回こおりやまエリアプラットフォームオンラインアンケート結果について
【旧長沼高等学校跡地の利活用について】

- 目的 PPP/PFIの更なる推進及び具体的な案件形成を目指し、オンラインアンケート等を実施して、今後の事業展開の参考とする。
- テーマ 旧長沼高等学校跡地の利活用について
- 日程 令和6年10月28日（月）から令和6年12月20日（金）まで
- 回答事業者 5社

No	質問事項	主な意見など
1	旧長沼高校跡地を利活用するにあたって課題はありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地からの距離が離れている ●西側が斜面であるため早い時間から日陰になる ●前面道路の幅員が狭い。
2	この土地の面積や形状、周辺環境や景観は、どのような用途に適していると考えますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●地元木材を利用した住居兼専用施設 ●青少年向けの宿泊施設 ●スポーツ施設 ●太陽光発電設備の設置 ●地域のシンボルとなる施設
3	地域との意見交換やアンケート結果から、地域住民が求めているサービスや施設を実現する方法をお持ちですか。	<ul style="list-style-type: none"> ●商業施設を検討するのであれば、大型商業施設を運営する企業にサウンディング調査を行って見たらどうか ●一度設置すれば手があまり掛からず、地元の人にメンテナンスや見回りの仕事を依頼できる太陽光発電設備
4	校舎等の建物を除却するまでに3～4年程度の期間を要しますが、具体的な事業提案は可能でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ●建築資材の高騰などが懸念 ●不確定要素が多い場合、民間企業の参入の障壁は高くなる ●除却までの期間が長すぎる ●建物を除却している間に、活用方法を議論してはどうか
5	立地の判断材料として、市に求める支援制度は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ●人材紹介サービス ●補助金や、環境整備 ●企業間のマッチング
6	今回、旧長沼高校跡地のこういった点に関心をお持ちいただけましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ●広大な敷地の活用が見込める点 ●各方面とのサウンディング調査等によるアイデアを基に、事業者とマッチングができると可能性が生まれる土地である点

【今後について】

事業者の皆様からのご意見及び本オンラインアンケートの結果を基に、建物除却後の土地の有効活用について、地域や民間事業者など関係者からのご意見もいただきながら、引き続き検討していきます。